【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公表番号】特表2014-517003(P2014-517003A)
【公表日】平成26年7月17日(2014.7.17)
【年通号数】公開・登録公報2014-038
【出願番号】特願2014-514154(P2014-514154)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/74　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/14　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　 1/20　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　 1/30　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0787　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0786　(2010.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/74　Ｇ
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　11/02
Ａ６１Ｐ　 9/00
Ａ６１Ｐ　11/04
Ａ６１Ｐ　27/16
Ａ６１Ｐ　43/00　１０７
Ａ６１Ｐ　11/14
Ｃ１２Ｎ　 1/20　Ｅ
Ａ２３Ｌ　 1/30　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　 5/00　２０２Ｐ
Ｃ１２Ｎ　 5/00　２０２Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月1日(2015.6.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象者における呼吸器疾患の治療または予防に使用するための、ビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ　ｌａｃｔｉｓ　ＢＬ０４）、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ　ｌａｃｔｉｓ　ＢＬ０４）の発酵産物、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ　ｌａｃｔｉｓ　ＢＬ０４）の細胞ライセートを含む組成物。

【請求項２】
呼吸器疾患が上気道疾患である、請求項１に記載の使用するための組成物。
【請求項３】
呼吸器疾患が下気道疾患である、請求項１に記載の使用するための組成物。
【請求項４】
呼吸器疾患が、扁桃腺炎、中耳炎、鼻炎、鼻副鼻腔炎、静脈洞炎、鼻咽頭炎、鼻咽喉炎、感冒、咽頭炎、咽頭蓋炎、声門上炎、喉頭炎、喉頭気管炎、気管炎、喉の痛み、くしゃみ、鼻詰まり、鼻水、および咳からなる群のうちの１つまたは複数から選択される、請求項１または２に記載の使用するための組成物。
【請求項５】
呼吸器疾患が、気管支炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、胸部うっ血を伴う咳および喘鳴を伴う咳からなる群のうちの１つまたは複数から選択される、請求項１または３に記載の使用するための組成物。
【請求項６】
対象者における顆粒球の食細胞活性が増加する、請求項１～５のいずれか一項に記載の使用するための組成物。
【請求項７】
対象者における単核白血球の食細胞活性が増加する、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用するための組成物。
【請求項８】
好ましくは、ラクトバシラス（Ｌａｃｔｏｂａｃｉｌｌｕｓ）属、ストレプトコッカス（Ｓｔｒｅｐｔｏｃｏｃｃｕｓ）属、エンテロコッカス（Ｅｎｔｅｒｏｃｏｃｃｕｓ）属、ビフィドバクテリウム（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ）属、およびサッカロミケス（Ｓａｃｃｈａｒｏｍｙｃｅｓ）属から選択される、少なくとも１つの更なるプロバイオティクス微生物を含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の使用するための組成物。
【請求項９】
対象者の呼吸器疾患の治療または予防のための組成物の製造におけるビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ０４）、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ０４）の発酵産物、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ０４）の細胞ライセートの使用。
【請求項１０】
呼吸器疾患が上気道疾患である、請求項９に記載の使用。
【請求項１１】
呼吸器疾患が下気道疾患である、請求項９に記載の使用。
【請求項１２】
呼吸器疾患が、扁桃腺炎、中耳炎、鼻炎、鼻副鼻腔炎、静脈洞炎、鼻咽頭炎、鼻咽喉炎、感冒、咽頭炎、咽頭蓋炎、声門上炎、喉頭炎、喉頭気管炎、気管炎、喉の痛み、くしゃみ、鼻詰まり、鼻水、および咳からなる群のうちの１つまたは複数から選択される、請求項９または１０に記載の使用。
【請求項１３】
呼吸器疾患が、気管支炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、胸部うっ血を伴う咳および喘鳴を伴う咳からなる群のうちの１つまたは複数から選択される、請求項９または１１に記載の使用。
【請求項１４】
対象者における顆粒球の食細胞活性が増加する、請求項９～１３のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１５】
対象者における単核白血球の食細胞活性が増加する、請求項９～１４のいずれか一項に

記載の使用。
【請求項１６】
使用が予防である、請求項９～１５のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１７】
組成物が、好ましくは、ラクトバシラス（Ｌａｃｔｏｂａｃｉｌｌｕｓ）属、ストレプトコッカス（Ｓｔｒｅｐｔｏｃｏｃｃｕｓ）属、エンテロコッカス（Ｅｎｔｅｒｏｃｏｃｃｕｓ）属、ビフィドバクテリウム（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ）属、およびサッカロミケス（Ｓａｃｃｈａｒｏｍｙｃｅｓ）属から選択される、少なくとも１つの更なるプロバイオティクス微生物を含む、請求項９～１６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１８】
対象者の薬物摂取量を変更するために使用されるビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）の発酵産物、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）の細胞ライセートを含む組成物。
【請求項１９】
対象者の薬物摂取量を変更するための薬剤の製造におけるビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）の発酵産物、および／またはビフィドバクテリウム・ラクティスＢＬ－０４（Ｂｉｆｉｄｏｂａｃｔｅｒｉｕｍ ｌａｃｔｉｓ ＢＬ－０４）の細胞ライセートの使用。
【請求項２０】
薬物が風邪またはインフルエンザの薬物である、請求項１８に記載の組成物、または請求項１９に記載の使用。
【請求項２１】
本明細書中で実施例および図を参照して一般的に教示される方法、使用、または組成物。